

人工生命ワークショップ 報告

日 時 1994 年 1 月 10 日

会 場 札幌学院大学C号館

人工生命ワークショップについて

皆川 雅章

本ワークショップは、情報学的側面から見た人工生命の今後の研究方向を探るべく、関連分野の研究者を招いて、平成6年1月10日に札幌学院大学において開催された。研究者間でのブレインストーミングを行なうことを目的として、学外より情報処理関連分野の第一線の講演者を招いた。参加者は20名(含講演者8名)で、各講演ごとに活発な質疑応答が行なわれた。特にディスカッションでは、本学の社会学、物理学、経済学関連の研究者達から、各々の分野から見た人工生命研究に関するコメントが得られた。今後の展開に、より深い洞察と客観性を与える材料になるものとする。また、講演途中で行われた昆虫ロボット(MITのGenghis)のデモンストレーションは参加者の注目を集めた。

プログラム

1. 学部長挨拶 12:00~12:05 田中 一 (札幌学院大学社会情報学部)
2. 講演 12:05~15:55
 - (1) 人工生命の研究動向 皆川雅章 (札幌学院大学社会情報学部)
 - (2) 人工生命と遺伝アルゴリズム 鈴木恵二 (北海道大学工学部)
 - (3) 人工生命における学習 三上貞芳 (北海道大学工学部)
 - (4) 分子進化と人工生命 (神戸大学工学部)
 - (5) サブサンクション・アーキテクチャ (株式会社ウチダテ)
 - (6) 社会学から見た人工生命 (札幌学院大学社会情報学部)
 - (7) 波動場を用いた人工生命へのアプローチ (通産省生命研)
 - (8) 進化するハードウェアをめざして (通産省電総研)
3. ディスカッション 16:00~17:00

注) (5)は講演とデモンストレーション

本ワークショップは札幌学院大学社会情報学部理系教員プロジェクト費用の援助を得て行なわれたことを付記し、謝意を表したい。